

日本音楽知覚認知学会平成17年度第1回理事会議事録

日時：平成17年5月21日（土）10:30～12:25

開催場所：日本大学芸術学部江古田校舎

出席者：岩宮 眞一郎，大浦 容子，福井 一，山田真司，中島 祥好，桑野 園子，安達 真由美，小川 容子，重野 純，菅 千索，谷口 高士，平賀 譲，古矢 千雪，星野 悦子，村尾 忠廣，森下 修次，柳田 益造

議題

1. 会員状況報告 会員状況について報告を行った。

会員総数 336 名（平成17年3月31日現在）昨年同時期に比べ12名の減少

会員内訳：名誉会員1名、会友2名、顧問1名、正会員283名、学生会員49名

2. 平成16年度事業報告

(1) 春季研究発表会開催

平成16年5月29日（土），30日（日）：大阪樟蔭女子大関屋キャンパス

研究発表：18件

(2) 秋季研究発表会開催

平成16年11月5日（金）～7日（日）：会津大学

研究発表：29件（音楽情報科学研究会（SIGMUS）、音楽音響研究会（MA研）と合同）

(3) 「音楽と感情」研究会

下記の8回、京都女子大にて「音楽と感情」研究会を開催した。

平成16年5月2日，6月13日，7月18日，9月26日，10月31日，12月19日，

平成17年2月6日，3月13日

（平成16年10月31日のみ、生駒市芸術会館「美楽来」で開催）

(4) 学会賞授与 平成16年度は、以下の学会賞の授与を決定した。

研究選奨

平成16年度音楽知覚認知学会春季研究発表会

菅野禎盛（九州産業大学経営学部産業経営学科）

田本早知子（長崎純心大学大学院人間文化研究科）

平成16年度音楽知覚認知学会秋季研究発表会

三谷知里（長崎純心大学大学院人間文化研究科）

特別賞

大串健吾（京都市立芸術大学名誉教授）

3. 平成16年度決算報告 資料に基づき、平成16年度の決算案の報告を行った。

4. 平成16年度監査報告 監査結果を報告し、承認した。

5. 平成17年度事業計画

(1) 研究発表会

春季研究発表会 日本大学芸術学部江古田校舎 平成17年5月21日，22日

秋季研究発表会 京都女子大学 平成17年10月15日，16日

(2) 学会誌発行

音楽知覚認知研究 Vol. 10 (No. 1, 2 合併号), Vol. 11—No. 1, No. 2

Vol. 11—No. 2 は、「音のデザイン」特集号を計画している。

山田真司氏を常任編集委員に加えることを承認した。

(3) 「音楽と感情」研究会

下記の 2 回を含め、本年度 4～5 回の研究会を予定している。

平成 17 年度 5 月 1 日 (京都女子大にて既に開催), 6 月 19 日 (予定)

また、本年度秋季研究発表会にて、第 1 日目の午前中などの時間に、シンポジウムを開催し、「音楽と感情」研究会の締めくくりとしたい (ただし、これについてはプログラムの時間調整の必要あり)。平成 16 年度から 2 年間続けてきた「音楽と感情」研究会であるが、本年度で一応の終了を迎えたい。

6. 音楽文献目録委員会

音楽文献目録委員会より、一口 5 万円の助成依頼があり、妥当性、有効性、本会の財務状況の各観点からの議論があり、本会としては年額 2 万円程度なら供出しても差し支えないのではないかとの結論に達した。その旨を、先方に伝えることになった。なお、今後、予想以上の有効性が認められた場合、増額も考慮するものとする。

7. 平成 17 年度予算案 予算案を原案どおり承認した。

8. 日本音楽知覚認知学会研究選奨選考の件, 論文賞の件

春季研究発表会に関しては、4 名の委員が任命された旨報告があった。

本年度は、論文賞選出の年にあたっており、10 巻の発行を待って、選出手続きを行うこととなった。

9. 役員改選選挙結果の報告

資料に基づき、役員選挙結果の報告があり、候補者全員の当選を承認した。

10. 研究選奨選考手続きの再検討について

実施上の種々の問題委対して研究選奨選考手続きの再検討を行うこととなっていたが、「発表内容が選考委員の専門とする領域でないため評価が非常に困難であるなどのやむを得ない事情があるときは、委員長は選考委員が発表についての評価を辞退することを認めることができる。ただし、一つの発表についての評価者が 3 名以下であってはならない。」の一項を加えて運営していくこととなった。

11. 他団体との共催における発表資料の著作権取り扱いについて

本学会の研究発表会資料において、著作権の譲渡の取り決めがないため、それを有する他学会との共催のさいに問題が発生している旨の報告があり、今後検討していくこととなった。

12. 会費未納者の扱いについて

会費未納者について資料が示され、除籍の対象者もいるが、もう少し督促を行ったうえで、手続きを実施することとなった。

13. ICMPC10 について

前回の理事会の決議に基づき、ICMPC10 の札幌開催を提案していたが、承認された旨の紹介があった。現在、組織委員会、顧問等の選出を行っている旨の紹介があり、これを了解した。また、ICMPC10 の残金のうち 20 万円を運用資金として使用することが承認された。

14. 倫理規定

「倫理規定」を承認した。

15. その他

今後の日本音楽知覚認知学会の運営に際し、新しい理事会で、そのあり方を考えていくこととなっ

た。